

連続立体交差事業について

概要

道路整備の一環として鉄道を連続的に高架化または地下化し、複数の踏切を一挙に除却

事業効果

- ①踏切除却による踏切事故の解消
- ②開かずの踏切除却等による交通渋滞の解消
- ③鉄道により分断されている
市街地の一体化による地域の活性化

課題

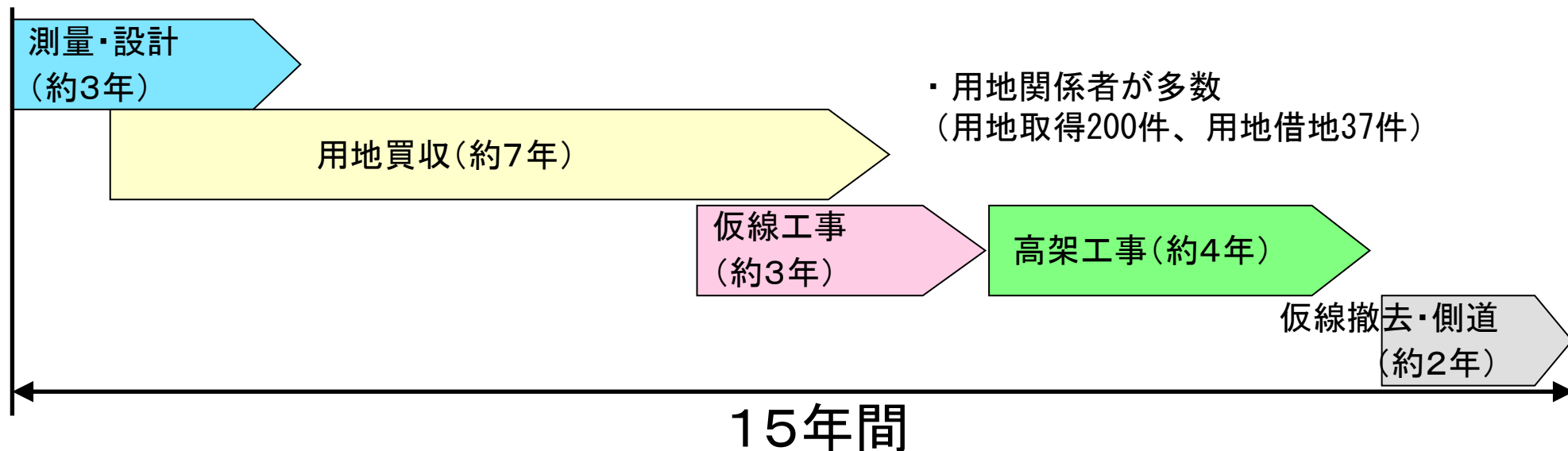
鉄道事業者との協定により都市・鉄道双方が事業費を負担する事業であるが、必要な予算額が確保できず、事業進捗に支障

平成27年度実施箇所の平均像

◆ 全体事業費(※) :	約600億円	(全国42事業認可取得箇所の平均)
◆ 整備延長 :	約3.3km	※全体事業費：都市側負担分に 鉄道事業者負担分を加えた事業費

連続立体交差事業の流れ(例)

JR中央線連続立体交差事業(東側区間)の場合



鉄道事業者と連携し、長期間、多額の事業費を要する連続事業を着実に進めるためには安定的な予算確保が必要

連続立体交差事業の効果

ストック効果1(※)

「開かずの踏切」がなくなり
人とモノの流れが安全でスムーズな街が実現！

● before

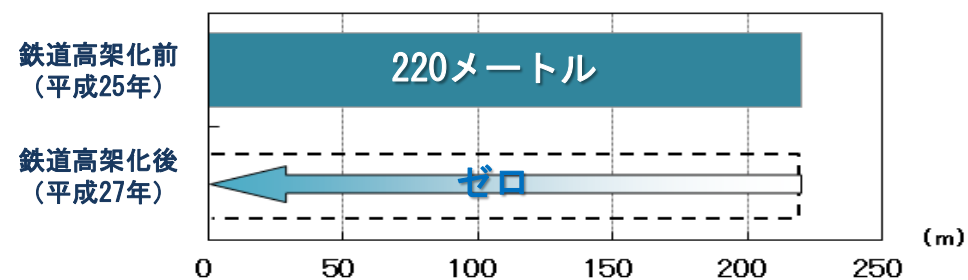


● after



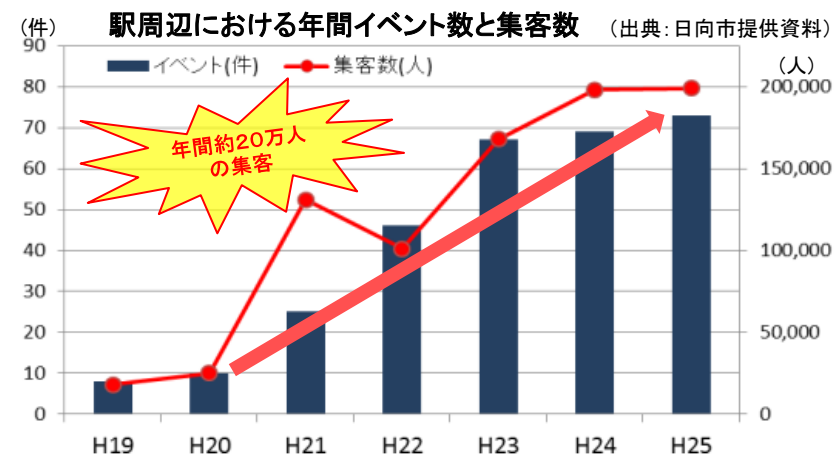
(※) ストック効果：整備された社会資本が機能することによって継続的に中長期的に得られる効果

都道444号線の踏切遮断による交通渋滞の変化（東京都建設局調査）

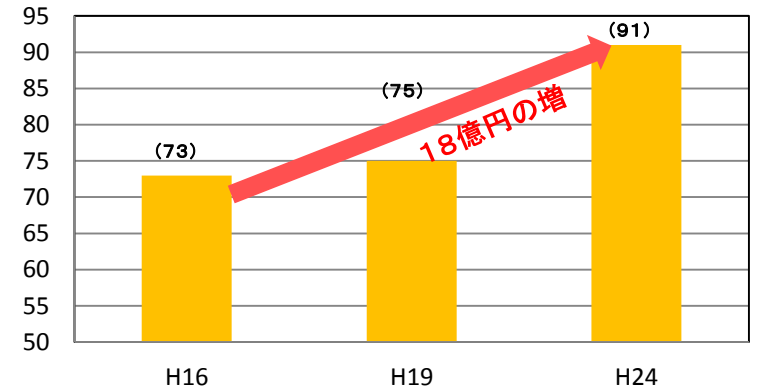


ストック効果2

沿線の開発や民間投資が誘発され、便利で活力のある街が実現！



駅周辺の日向市中心市街地における年間販売額（出典：日向商工会議所 提供資料）



駅周辺の日向市中心市街地における店舗数

